

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 革新的 VLPs の創成が拓くウイルス浄水処理の新展開
2. 研究代表者： 白崎 伸隆（北海道大学 大学院工学研究院 准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、培養困難な病原ウイルスの浄水処理における除去特性を詳細に把握すると共に、それらを含む多種多様な病原ウイルスを高度・高効率に除去することを可能にする浄水処理の実現を目指し、高感度に定量可能な革新的 VLPs を用いた培養法に依存しない全く新しいウイルス浄水処理性評価法を構築する研究である。フェーズ 1 では、分野融合・学際性の向上等に向けた取り組みを積極的に行っており、革新的 VLPs の作製法の確立等、当初計画に照らして十分な成果を得ている。

フェーズ 2 では、他分野へのインパクトや水循環の枠組み、途上国支援など、より大きな視野で研究の意義や革新性を検討していただきたい。テーマとしては挑戦的であり、社会的インパクトも大きく、創発に相応しい計画であるが、研究成果の発信が不十分であるので、知財化やジャーナルへ投稿・掲載されることを期待する。

以上